

市P連おおた

題字：太田市P連会長 石井 一弘

第35号

★発行 所：太田市 PTA 連合会
 ★発行 責任者：石井 一弘
 ★編集 担当：太田市 PTA 連合会 東ブロック
 九合小学校 PTA、蕨川小学校 PTA
 休泊小学校 PTA、中央小学校 PTA
 旭小学校 PTA、駒形小学校 PTA
 東中学校 PTA、休泊中学校 PTA
 城東中学校 PTA、旭中学校 PTA
 ★印刷 所：株式会社アド・レーベン



太田市PTA連合会 会長
太田市立里田中学校PTA会長

子ども達のために より良いコミュニティを

石井 一弘

「本年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、様々な学校行事が再開されました。運動会や体育祭、遠足、修学旅行に発表会。また創立一五〇周年を迎える小学校が多く式典や事業などが行われ、各学校の会長様をはじめとする会員の皆様におかれましては大変ご多忙だったのではないかと思います。その中で市P連活動にご理解、ご協力をいただきまして大変感謝申し上げます。

毎年市P連の事業で行われる会員研修会ですが、今年度もおかげさまで無事に開催することができました。各ブロックの役員様、そしてご参加していただきました会員の皆様大変ありがとうございました。

PTAの目的は、学校と保護者が連携し、子どもたちの健全な成長をサポートすることです。そのために、様々な行事や活動を企画し、学校とのコミュニケーションを図っていきまします。そして、保護者の皆様の声を学校に届け、より良い教育環境の実現に向けて努力していきたく思います。



令和5年度太田市PTA連合会定期総会において、副会長の要職を仰せつかりました蕨川小学校所属の半藤と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最初に蕨川小学校PTAですが、体操着・給食着のクリーニングを通して社会貢献に取り組みとともに、教職員多忙化解消に向けた協議会のR5提言に基づき、ICTを使ったオンライン総会や出欠フォーム、アンケートフォーム等を実施し、会員が参加しやすい体制を取っております。さて、新型コロナウイルス

PTAの存在意義は、子ども達の健全な成長のため保護者と教職員が協力することです。学校と家庭が同じ方向を向いて、それぞれができることをする。それは、子ども達の成長に大きく貢献すると思えます。協力してPTA活動を活発にすることが重要だと考えておりますので、引き続き皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



PTAの存在意義は、子ども達の健全な成長のため保護者と教職員が協力することです。学校と家庭が同じ方向を向いて、それぞれができることをする。それは、子ども達の成長に大きく貢献すると思えます。協力してPTA活動を活発にすることが重要だと考えておりますので、引き続き皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

まず初めに、参加者をはじめ関係者の方のご協力のおかげで、今年度家庭教育委員会の活動を無事に終えることができましたことを深く感謝申し上げます。

第一回目のわくわく子育てトークングでは、最初は全員が緊張した面持ちでしたが、講師の方の提案で簡単なゲームをしていくうちに、緊張もほぐれ笑顔も見られるようになり、グループに分かれてからの話し合いも互いに意見を言いやすくなっていました。

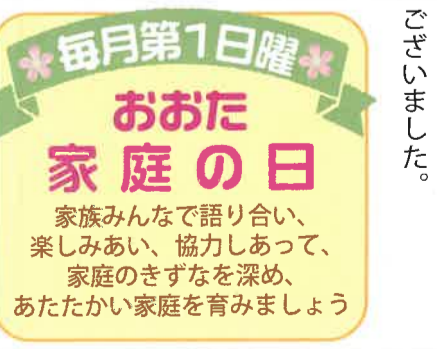
第二回目の親子バスケットボール講座では、群馬クレインサンダーズのアンダーコーチにお越しいただき、ドリブル競争やシュート対決をしたり、最後には親子に分かれて試合をしました。

第三回目のパドル体操教室では、皆さんが思っているようなパドルではなく、おたまたの大きさのパドルを使ってストレッチをしたりラジオ体操をしたりダンスやヒールを踊ったりしました。方言バージョンのラジオ体操は、なかなか面白かったです。

第四回目のおしゃれしめ縄づくりでは、講師の方のようになく作れるか不安そうでしたが、お子さんと一緒に楽しく素敵なしめ縄を作っていました。

第五回目のS・N・Sインターネット、ゲームとの上手な付き合い方では、これからのツールとどう付き合っていく

先生には「脳育てのトリセツ」という題材での講演をいただき、子ども達の考え方ややる気を引き出す方法について、脳科学の観点から貴重な教訓をいただきました。先生の講演をいただき、先生への感謝をいいたく、先生の方にお集まりいただき、有意義な時間を過ごすことができましたと考えると、黒川伊保子先生への素晴らしい講演と、多くの皆様のご協力により、今年度の会員研修会を有意義に開催することができました。思いがけず、制約を受けずに開催できたことで、より多くの方に集まりいただき、有意義な時間を過ごすことができました。最後に、黒川伊保子先生の素晴らしい講演と、多くの皆様のご協力により、今年度の会員研修会を有意義に開催することができました。



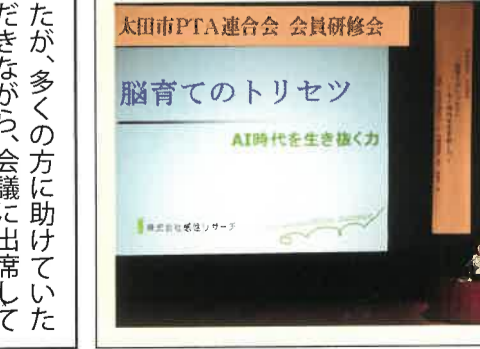
「共に学び共に歩もう」笑顔あふれる家庭を目指して

太田市PTA連合会
家庭教育委員会 副委員長
近松 真貴

先生には「脳育てのトリセツ」という題材での講演をいただき、子ども達の考え方ややる気を引き出す方法について、脳科学の観点から貴重な教訓をいただきました。先生の講演をいただき、先生への感謝をいいたく、先生の方にお集まりいただき、有意義な時間を過ごすことができました。最後に、黒川伊保子先生の素晴らしい講演と、多くの皆様のご協力により、今年度の会員研修会を有意義に開催することができました。

先生には「脳育てのトリセツ」という題材での講演をいただき、子ども達の考え方ややる気を引き出す方法について、脳科学の観点から貴重な教訓をいただきました。先生の講演をいただき、先生への感謝をいいたく、先生の方にお集まりいただき、有意義な時間を過ごすことができました。最後に、黒川伊保子先生の素晴らしい講演と、多くの皆様のご協力により、今年度の会員研修会を有意義に開催することができました。

先生には「脳育てのトリセツ」という題材での講演をいただき、子ども達の考え方ややる気を引き出す方法について、脳科学の観点から貴重な教訓をいただきました。先生の講演をいただき、先生への感謝をいいたく、先生の方にお集まりいただき、有意義な時間を過ごすことができました。最後に、黒川伊保子先生の素晴らしい講演と、多くの皆様のご協力により、今年度の会員研修会を有意義に開催することができました。



毎月第1日曜
おおた 家庭の日
家族みんなで語り合い、
楽しみあい、協力しあって、
家庭のきずなを深め、
あたたかい家庭を育みましょう



太田市立

葦川小学校

本校は、明治8年、江徳寺小学擇善舎に始まり、令和7年度に創立150年を迎えます。樹齢130年超の本校のシンボルの「くすのき」が校庭にそびえ、児童435名が、毎日明るく元気に、そして笑顔で仲良く学校生活を送っています。

感染症拡大防止の観点から制限を受けていた学校行事も本年度は再開され、運動会や親子奉仕作業への運営協力や学校保健委員会、情報モラル講習会への参加など、子どもたちの成長を支えるPTA活動が戻ってきました。

昨年度、本校の新たなPTA活動としてスタートした「SDGsリサイクル活動～古着回収・販売～」(PTAが各家庭で不要となった体操着を回収して、葦川小の保護者に提供する活動)は、これまで4回



SDGs リサイクル

実施し、保護者の方に好評で今後も継続していく予定です。

これからも「子どもたちの成長を支えるPTA活動」を念頭に、また同時に時代に即したPTA活動の在り方も模索しながら、学校と家庭・保護者、地域が手を携えて、子どもたちのために活動していきたいと思ひます。

子どもたちの成長を支えるPTA活動を!



太田市立

駒形小学校

本校は昭和60年4月、太田市立葦川小学校より分離開校し、今年度で39年目を迎えました。校庭には開校以来植えられてきたたくさんの木々がありますが、その中でも秋に目を引くのが「カキノキ」です。「カキノキ」は中国の孔子の墓地に植えられていることから「学問の木」とされ、その枝振りから楷書の語源ともされます。紅葉シーズンにはその美しさに誘われて、地域の方がカメラ片手に来校する程です。

また本校は、太田市内では珍しい校名に地区名を使っていない学校です。校名は正門脇にある「駒形石」(写真中央)に由来しています。銘文にはこうあります。「ずうっと昔のことです。大人の腕で一抱えもあるような石がこのすぐ近くの土の中から見つかりました。この石はよそから誰かが運ばなければこの辺には無い石で、そのうえ、小さな馬(駒)の蹄のあとのようなものがありました。村の人々はその石にふしぎなものを感じて、「駒形石」と呼んで長い間大切にしてきました。そして、この石の出たこの付近を、いつか「駒形」と呼ぶようになりました。「駒形石」はその後、しばらく雀神社の境内におかれていましたが、昭和六十年十一月、地区の方々により、この「駒形」の名をとった本校に、そのシンボルとして開校を記念し、移されたのです。」



「駒形石」

市内では新しい学校ですが、孔子に由来する「カキノキ」と歴史ある「駒形石」に見守られ、保護者や地域の温かい支えの下、「駒っこ」が日々勉強や運動に励んでいます。

カキノキ



太田市立

城東中学校

本校は、昭和62年4月に太田市立北中学校が過大校となったために分離開校し、今年度で37年目となりました。「全校一心」のスローガンのもと、文武両道により自らの明るい人生の実現を目指して様々な活動に取り組んでいます。葦川地区の明るく協力的な保護者と地域、そして教職員が一体となったPTAが生徒の日々の活動を支えています。

全校一心



<城東中学校PTA活動紹介>

本PTAの主な活動は文化教養部、体育厚生部、事業部、広報部の4つの部会が中心となって行われます。

①PTA球技大会

会員相互の親睦のため体育厚生部が中心となって、年1回PTA球技大会を行っています。教師と保護者が一つのチームをつくり学年対抗でソフトバレーボールを行い、白熱した試合が展開しました。また、日頃とは違う先生方の姿も見られ楽しいときを過ごすことができました。



②資源回収

資源回収については本年度より会員の負担軽減と感染症対策を考慮し、学校行事のときに各家庭より紙類やアルミ缶などの資源ゴミを持参してもらい回収する形式に変更しました。具体的には教育相談期間や授業参観のときに回収しました。1回の回収量は少なくなりましたが、今後は回収の機会を増やすことで、対応していきたいと考えています。その他、PTAセミナーとして「子どものネット・ゲーム依存の対応」というテーマでの講演会の実施や広報誌「東風」の発行、生徒の登下校の見守りなどの活動を行っています。

太田市立

旭小学校

本校は、昭和59年に開校し、今年度は節目となる40周年を迎えました。開校当初、学校周辺は田畑に囲まれていましたが、ここ最近では随分周囲の様子が様変わりしています。児童数も増え、現在570名となりました。

PTA活動においては、『新時代 手を取り合い 仲間と育む 旭の輪』をテーマに活動をしています。今年度は親子行事を再開し、夏休み中に「ハーバリウム作り」を実施しました。また、保護者はもちろん、地域の方々も、積極的に協力して下さいます。あさひ支援隊の方々には、あさひ農園や放課後パトロール等々、児童の安全確保や体験活動などの様々な場面で長年協力をいただいています。

PTAではこれからも子供たちの笑顔のために、これからも地域の方々と協力し合いながら、活動を計画・実施していきたいと考えています。そして、未来を担う子供たちを、様々な面で応援していきたいと思ひます。



新時代 手を取り合い 仲間と育む 旭の輪



太田市立

旭中学校

旭中の教育目標は「心豊かに かしこく たくましく」です。その実現に向けて目指す生徒像(校訓)を4つ掲げています。「自学」、「共同」、「克己」、「奉仕」です。具体的には、学ぶ意欲をもち、自ら努力する生徒(自学)、自他を認め、ともに力を合わせる生徒(共同)、心身ともに健康で困難に立ち向かう生徒(克己)、感謝の気持ちをもち、すすんで奉仕活動に取り組む生徒(奉仕)です。これらの生徒像を目指し、日々行われる授業、掃除や給食の時間、委員会活動や行事等の教育活動に励んでいます。

さらに、本校では「ASAHI MIND」といった心を大切にしています。ASAHI MINDとは、「相手のことを考えられる心、気づき、自ら行動しようとする心、ことばで思いや考えをつたえようとする心、仲間と協力しようとする心、自分のよさを感じる心」のことです。

ASAHI MINDの心を磨き高め、そういった心の持ち方を世界に広げていけるような生徒の育成を目指し、学校と家庭の両輪で、日々の教育活動を行っています。

心豊かに かしこく たくましく



あさびー

あさがっばー

